

講義名	対)中国文化研究			授業形態	
担当教員	市成 直子	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

中国小説史 一中国小説の世界一
中国小説の歴史(古代-近代まで)をたどりながら、その変遷と発展過程の特徴を学び、多種多様な作品が存在することを理解する。合わせて作品中に見える中国の風俗文化にも触れる。

到達目標

『三国志』や『西遊記』だけでなく、中国小説・物語と呼ばれるものには様々な内容、ジャンルの作品があり、それが現代にも息づいている状況を理解することが出来る。

提出課題

毎回授業時に、授業内容に基づく提出課題を提示する。
各自小レポートを作成し提出する。
提出方法については随時指示する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

学生諸君が提出した小レポートの内容に基づき、授業時に適宜既習の講義内容を確認する。
講義内容について各自が理解度を測る。

評価の基準

小レポート：60% 授業への積極的参加度：40%

履修にあたっての注意・助言他

毎回の授業内容を理解できていなければ、授業内容に即した正確なレポートは作成できない。
注意：インターネット等での表面的な検索結果を使用してレポートを作成し、提出することは認められない。
評価対象外とする。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

その他

必要に応じて授業時に資料を提示する。

授業計画

第1回 授業について、中国における「小説」という言葉について
第2回 「神話」における物語性
第3回 「思想書」の物語
第4回 「歴史書」の物語
第5回-第7回 「次朝志怪小説」と「志人小説」
第8回-第11回 「唐代傳奇小説」
第12回-第13回 「明代の小説」
第14回 清代の小説
第15回 「書画へ」

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	○	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習
予告する次回授業で取り上げる作品はどのようなものなのか、調べて確認しておく。(1時間程度)
配布される授業内容、資料を熟読し、内容を理解しておく。(1時間程度)
復習
授業内容について的小レポートを作成する。(1時間程度)
課題提出後のフィードバックを通して、提出した小レポートの内容を確認し、訂正加筆する。(1時間程度)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学認定に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に留意し、いずれにも関わる中国文化、社会について理解する資質・能力を身につける。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

状況により規定に基づき、PPTによるオンデマンド型授業を実施する場合がある。

実務経験の有無及び活用

備考